

製品名: BNIP3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81730**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	21.5kDa

抗原情報

遺伝子名	BNIP3
別名	NIP3
遺伝子 ID	664.0
SwissProt ID	Q12983
免疫原	大腸菌で発現したヒト BNIP3 (AA: 50-155) の精製された組み換え断片。

背景

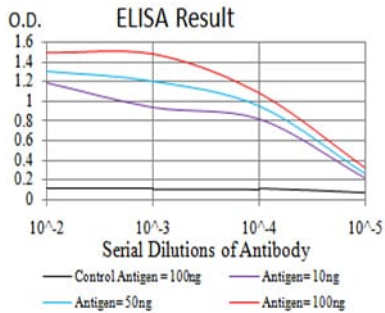
この遺伝子は、BH3 ドメインを含むミトコンドリアタンパク質をコードし、アポトーシス促進因子として作用します。コードされているタンパク質は、E1B 19 kDa タンパク質や Bcl2 などの抗アポトーシスタンパク質と相互作用します。この遺伝子は、腫瘍において

DNA メチル化によってサイレンシングされています。

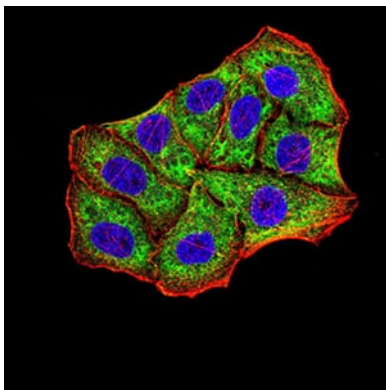
研究分野

アポトーシス、mTOR シグナル伝達経路

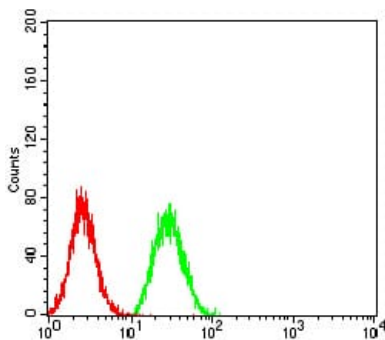
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



BNIP3 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



BNIP3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。